

第50回

伊豆長岡温泉

ぬえ

鶴ばらい祭

平成27年

1/25(日)

会場:湯らつくす公園

13:30~

出店も
あります!!



見どころ

- 地元中学生による伝統芸能「鶴踊り」の披露
- 弓道家による弓のデモンストレーション
- 福を呼ぶ「豆まき」
- 芸者衆による踊り
- ご当地キャラ「ぬえ左衛門」登場

※雨天の場合、あやめ会館3階にて「鶴踊りの披露」「芸者衆による踊り」「豆まき」のみ開催します。(13:30~)

イベント情報

※駐車場に限りがありますので、出来る限り公共交通機関のご利用をお願いします。

主催/一般社団法人 伊豆の国市観光協会 TEL.055-948-0304 FAX.055-948-5151 共催/伊豆長岡温泉旅館協同組合
後援/伊豆の国市 協力/花柳衛舞踊研究所 伊豆長岡芸能事業協同組合 伊豆の国市弓道連盟

※天候等によりイベント内容・会場等が変更となる場合がございます。



「鶴ばらい祭」とは…

頭が猿、胴体が虎、尾が蛇の妖怪「鶴」を、古奈の生まれであるあやめ御前の夫源頼政が退治したという故事に基づいて行われるようになったお祭り。

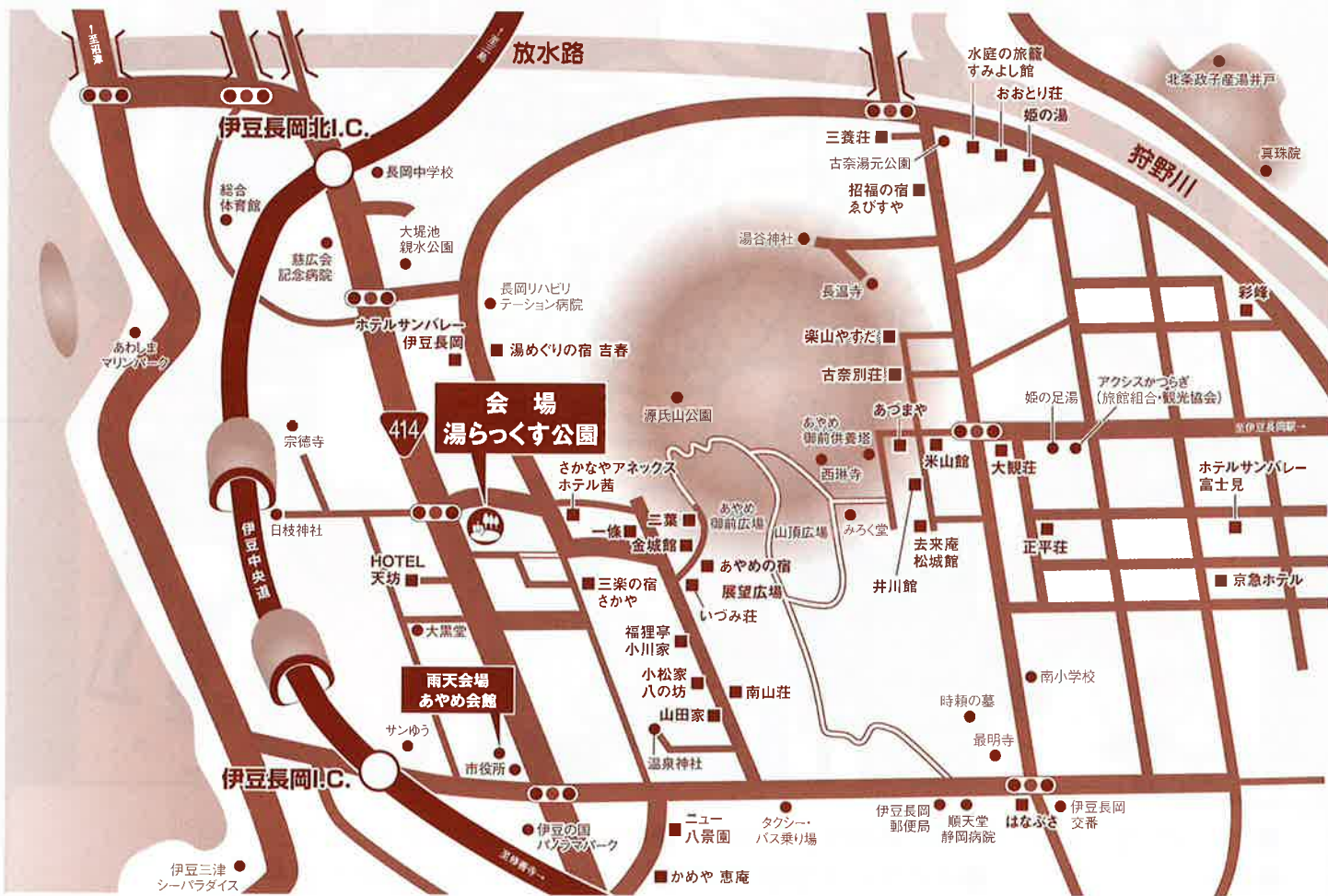
時は仁平年間(平安時代)のこと。宮中では近衛天皇が毎夜の如く奇病に悩まされた。深夜になると黒煙が御所を覆い鶴の鳴き声が聞こえ、その度に天皇は苦しみました。その夜もヒョーヒョーという気味悪い声をあげながら黒煙とともに、警護についていた頼政と家来である猪早太・渡辺競の前に姿を現した。弓の名手である頼政が力いっぱい弓を引くと、鶴に見事命中し、駆け寄った早太が剣で突き刺し、退治をした。それ以来、里人達は、藁で作った鶴を焼いて災厄を逃れた。

毎年「鶴ばらい祭」では、地元中学生がこの日のために練習を重ねた鶴踊りを披露します。また、会場では弓のデモンストレーションや芸者衆による踊りや福を呼ぶ豆まきも行われます。

鶴ばらい祭衣装修復募金への協力をお願い

半世紀続く「鶴ばらい祭」で中学生が着ている鶴の衣装を修復するために、募金を募っております。 ※上記のための募金専用口座となっております。

- 振込先 ● 銀行名/静岡銀行 ● 支店名/伊豆長岡支店 ● 口座番号/(普)0379212
● 入金略称/一般社団法人 伊豆の国市観光協会 代表理事 鴨下記久枝



アクセス ACCESS

電車・バス

三島駅 — 伊豆箱根鉄道 (約20分)

伊豆長岡駅 — バス (約10分)

宗徳寺前バス停下車

お車

東名沼津I.C. 新東名長泉沼津I.C.

東駿河湾環状道路・伊豆中央道 (約25分) 国道1号線・国道136号線経由 (約40分)

伊豆長岡・湯らっくす公園